

トンネル放流による道路法面崩落箇所等の本復旧工事について

令和5年5月に天ヶ瀬ダムトンネル式放流設備からの放流により、関西電力敷地の「道路法面崩落」、白虹橋右岸付近の「河岸洗堀」並びに白虹橋右岸下流にある「祠付近の着水」が確認され、令和5年6月7日に国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所が「天ヶ瀬ダム放流調査委員会」を設置し、7月26日には「第2回調査委員会」を開催し、「被災要因の分析」、「対策工事の選定」、「放流方法の検証」が行われました。

この度、調査委員会の結果を踏まえ、淀川ダム統合管理事務所により「道路法面崩落箇所（直上流対策箇所含む）」並びに「祠付近着水箇所」の本復旧工事が行われますので報告します。

1. 概要

発注者：国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所

工事期間：令和5年12月11日から令和6年6月中旬

受注者：株式会社 第一土木

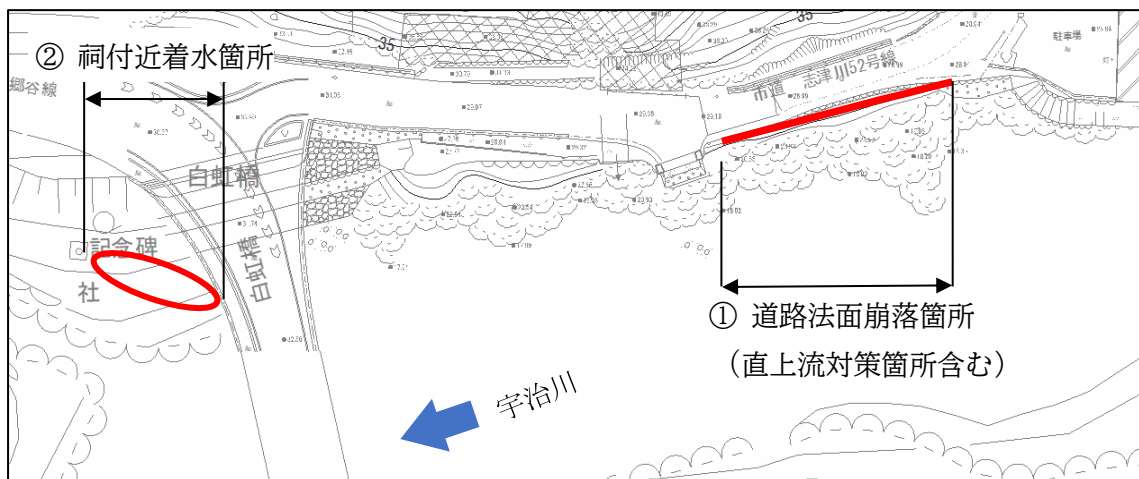
2. 工事内容（資料1）

① 道路法面崩落箇所（直上流対策箇所含む）

洗堀や吸い出しに耐え得る堅固な構造として、現場打ち擁壁を施工し、その前面を仕上げ材により修景を行う。

② 祠付近着水箇所

天ヶ瀬ダムからの流水が階段を駆け上がらない構造として、既設階段を取り壊し、波返し付擁壁等を施工する。

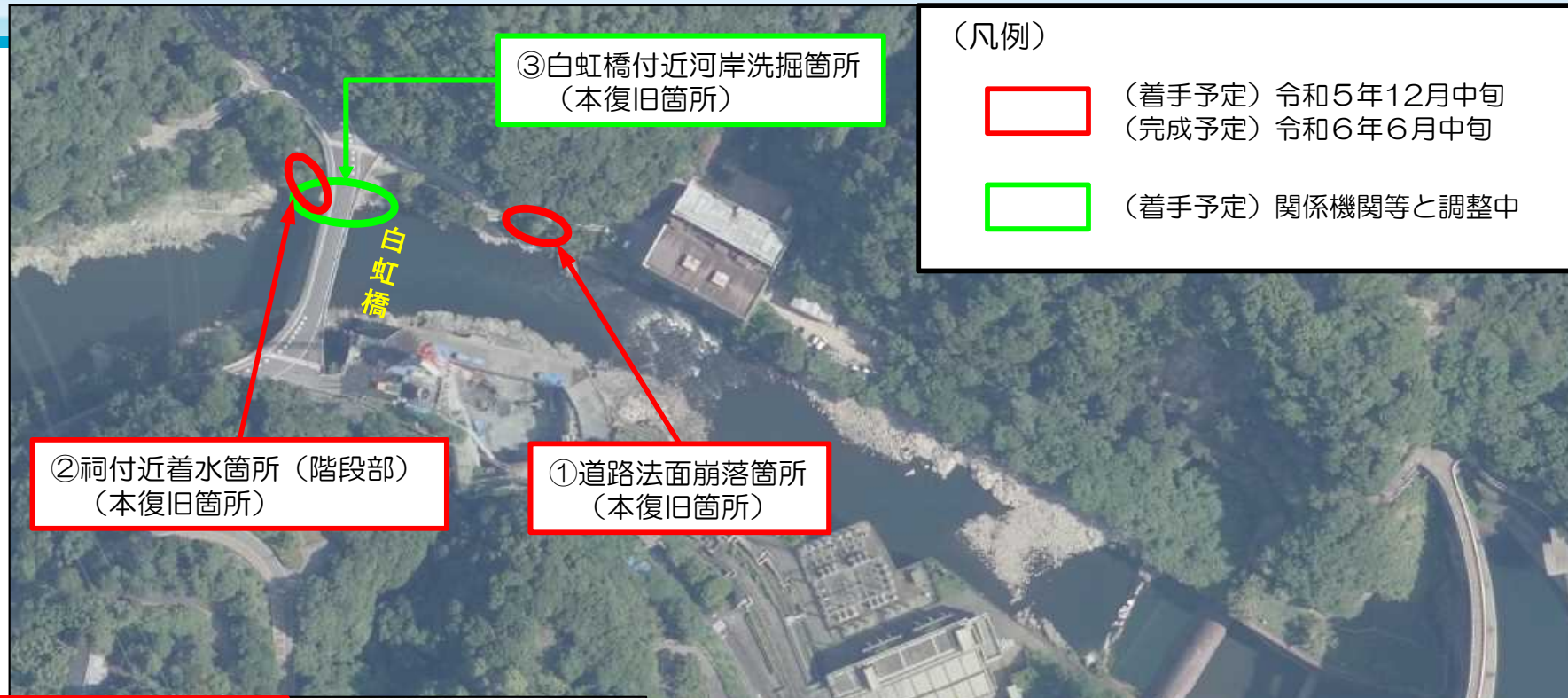


天ヶ瀬ダムトンネル式放流設備による 被災箇所等の本復旧及び対策について

国土交通省 近畿地方整備局
淀川ダム統合管理事務所

令和5年12月

被災箇所(現況写真、復旧スケジュール)



③白虹橋付近河岸洗掘箇所
(本復旧箇所)

(凡例)



(着手予定) 令和5年12月中旬
(完成予定) 令和6年6月中旬



(着手予定) 関係機関等と調整中

②祠付近着水箇所(階段部)
(本復旧箇所)

①道路法面崩落箇所
(本復旧箇所)

②祠付近着水箇所(階段部)

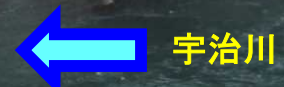


令和5年11月28日撮影

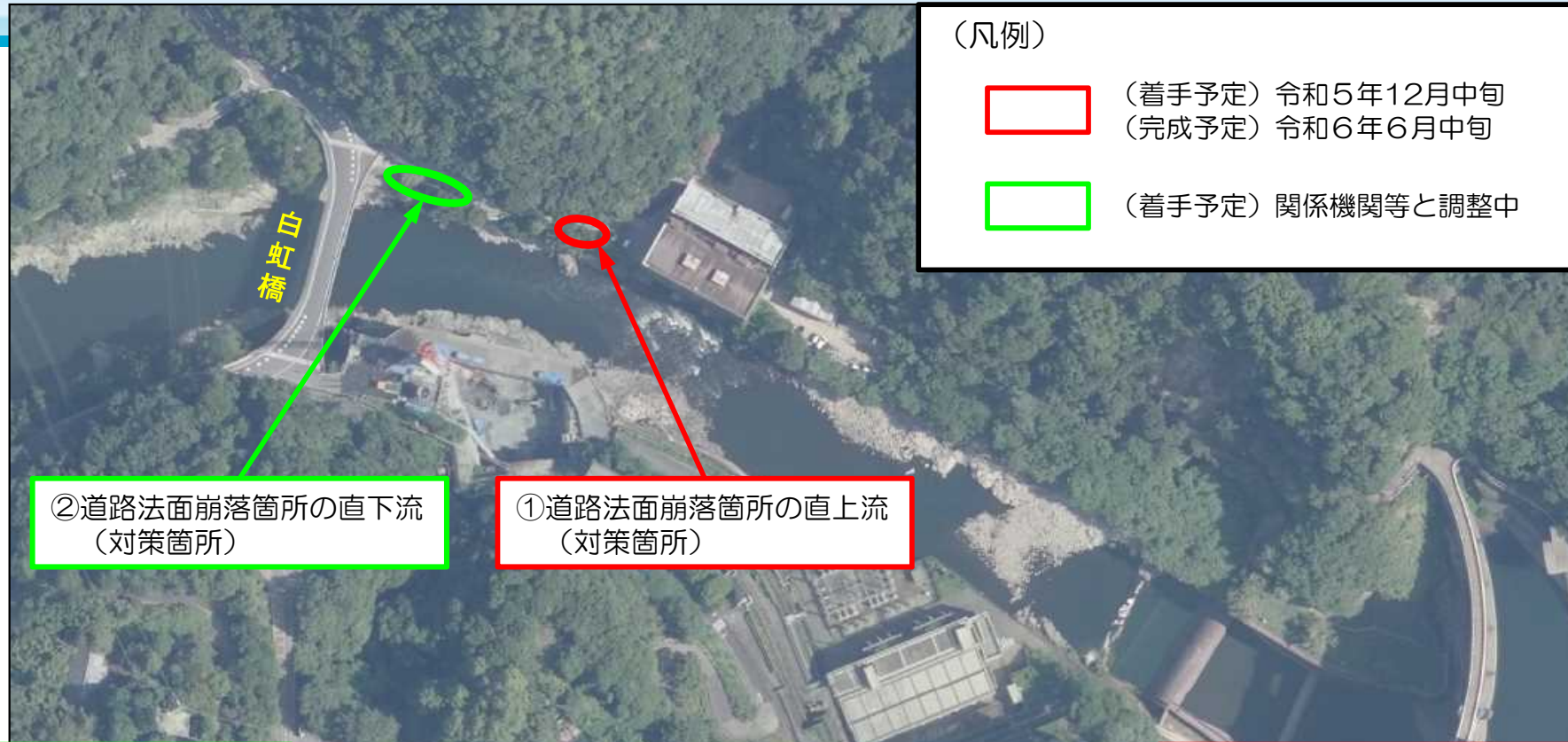
①道路法面崩落箇所



令和5年11月28日撮影



対策箇所(現況写真、対策スケジュール)



(凡例)



(着手予定) 令和5年12月中旬
(完成予定) 令和6年6月中旬



(着手予定) 関係機関等と調整中

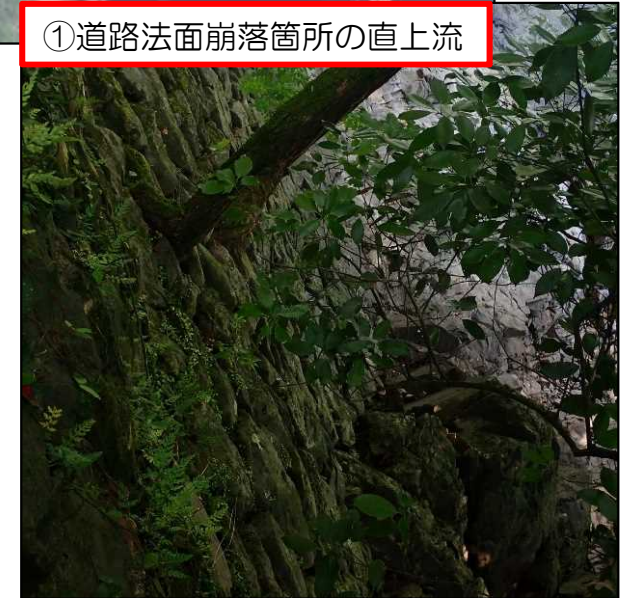
②道路法面崩落箇所の直下流
(対策箇所)

①道路法面崩落箇所の直上流
(対策箇所)

②道路法面崩落箇所の直下流



①道路法面崩落箇所の直上流



①道路法面崩落箇所（整備イメージ）

整備イメージ



表面イメージ: 自然石(乱積)仕上げ



NETIS 認定技術
CB-110012-A

新設、既設構造物の壁面修景工法

ラックストーン

多彩な石積みの表情を再現
施工性を高めた修景工法
リメイクの多様性



ラックストーンとは

土木構造物や建築構造物の既設・新設の仕上面に専用金具を取付ける事で、仕上材を容易に設置、修景する事ができます。
特に本工法は、仕上厚を抑えた施工が可能でテクスチャーを活かし多様な意匠にする事ができます。

ラックストーンの特徴

多彩な石積みの表現を再現

石積には、多くの積方があり、石材の割付はもとより、石材仕上面の見え掛りや、石の合端のおさめ方等が仕上りに大きく影響してきます。
ラックストーンは、設計条件、コンセプトにあった多様な石積みを再現します。

石材割付例



亀甲積

谷積

布積



乱積 A

乱積 B

乱積 C

※石種・割付パターンは、ご相談に成じます



深目地

眠り目地

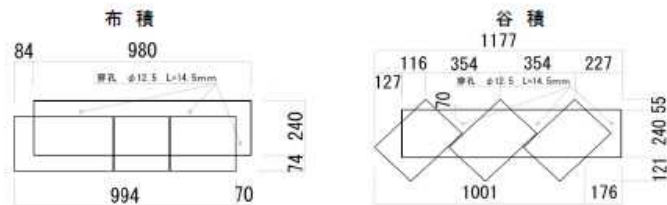
ユニットタイプ(ミニ) 概要・施工フロー

ユニットタイプ(ミニ)は、パネルに取り付ける石種の意匠性と重量を重視し、コスト縮減を要する条件を満たした工法です。

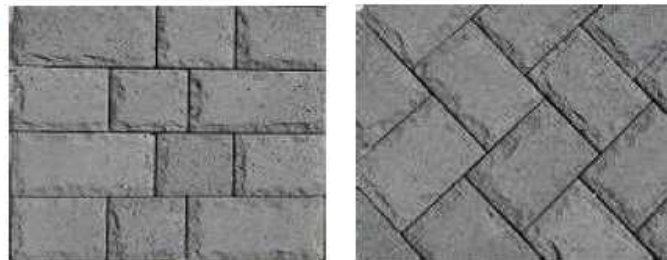
意匠性の高い石材を施した小型の石材パネルを、割り付け図に基づき取付けます。既設擁壁をはじめ、鋼管杭や鋼矢板の前面化粧に適しています。

景観性、施工性、経済性に優れた工法です。

最小パネルで約40kg程度になります。



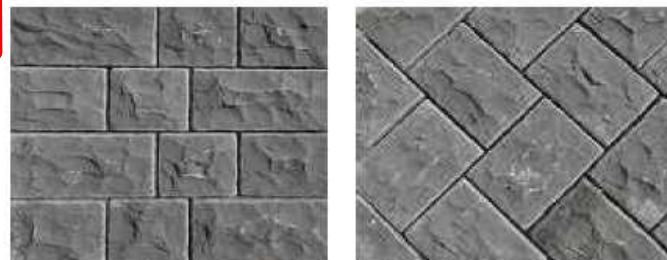
砂岩



花崗岩



安山岩

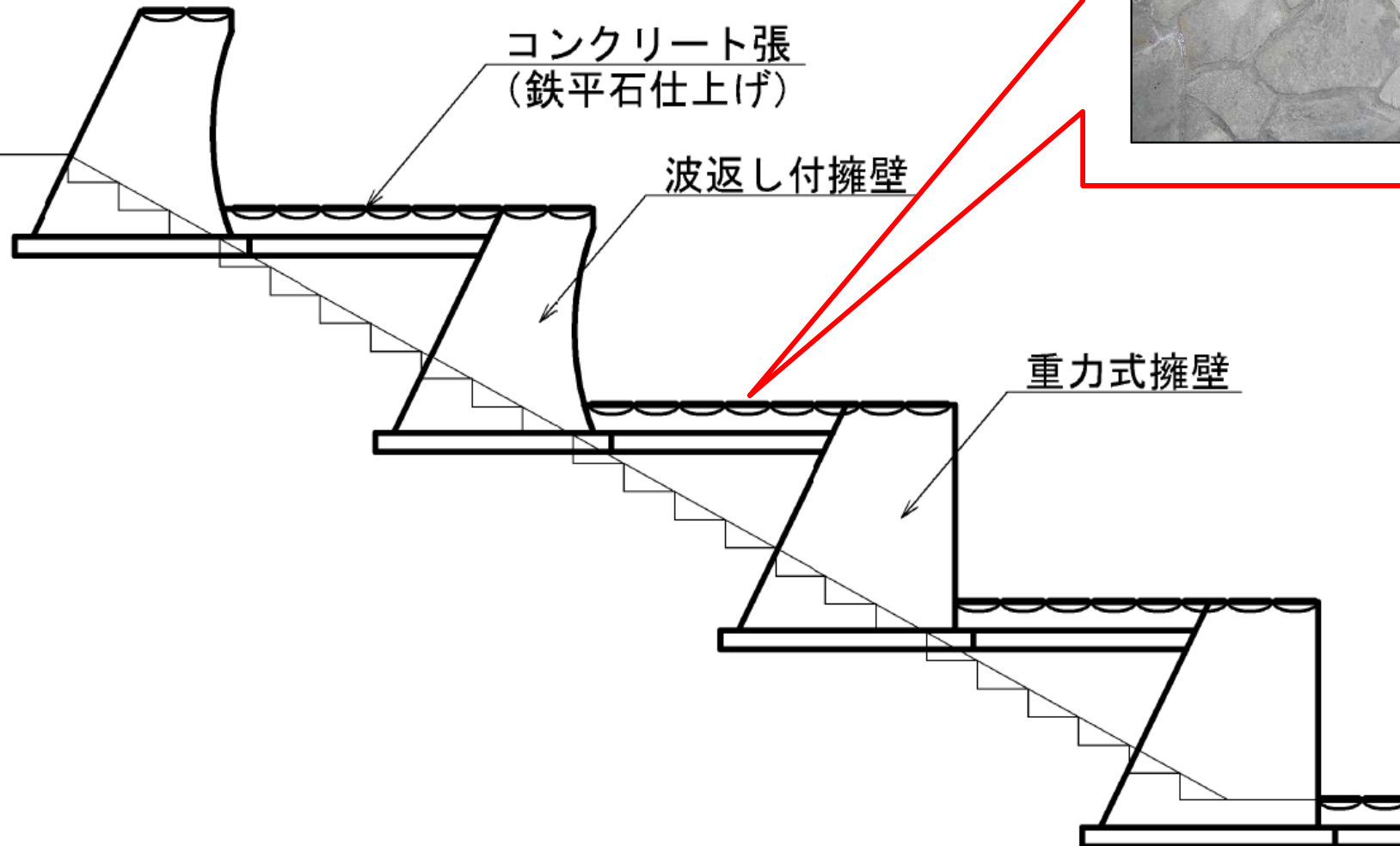


【 施工手順 】



② 祠付近着水箇所(階段部) (整備イメージ)

整備イメージ



表面イメージ: 鉄平石仕上げ



